

授業科目名	看護理論の基礎			担当教員	本田 多美枝	
開講年次	2年後期	セメスター	4	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	看護の歴史の変遷を捉え、看護理論が創出されてきた背景と経緯について理解する。また、主要な看護理論について学び、これらの理論が看護実践、研究、教育を発展させる可能性について考える。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護理論とは何か、看護の本質と理論との関係について説明できる</li> <li>2. 看護理論の歴史の変遷と現状、主要な看護理論の概要について説明できる</li> <li>3. 看護の現象に迫る主要理論の中から理論を選択し、内容および背景にある考え方、実践への活用について説明できる</li> <li>4. これからの看護と看護理論の可能性および限界について考察できる</li> </ol>					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	看護理論とは何か 看護理論の歴史の変遷と現状、主要な看護理論の概要、小テストおよびフィードバック	講義	予習：看護学概論で学習した内容について確認しておく	1時間	本田	
2	主要理論の理解(1) ニード/セルフケア理論：オレムのセルフケア理論	講義 演習	予習：オレムとはどのような理論家か調べ、ワークシートにまとめておく	1時間	本田	
3	主要理論の理解(2) 相互作用/人間関係理論：トラベルビーの人間対人間の看護	講義 演習	予習：トラベルビーとはどのような理論家か調べ、ワークシートにまとめておく	1時間	本田	
4	主要理論の理解(3) 人間の心理、病気の過程にある人を理解するための理論：障害受容、死の受容過程理論	講義 演習	予習：キューブラーロスについて調べ、ワークシートにまとめておく	1時間	本田	
5	主要理論の理解(4) 全体性理論：M. ニューマンの拡張する意識としての健康	講義 演習	予習：M. ニューマンについて調べ、ワークシートにまとめておく	1時間	本田	
6	主要理論の理解(5) システム理論：ロイの適応モデル	講義 演習	予習：ロイについて調べ、ワークシートにまとめておく	1時間	本田	
7	主要理論の理解(6) ケアリング理論：メイヤロス、ワトソンのケアリング理論	講義 演習	予習：ワトソンについて調べ、ワークシートにまとめておく	1時間	本田	
8	これからの看護と看護理論の可能性および限界について考える レポートのフィードバック	講義 演習	予習：課題レポート作成のための準備をしておく	2時間	本田	

先行履修科目					
テキスト	特に指定しない				
参考文献	筒井真優美編：看護理論家の業績と理論評価。医学書院，2015。 野川道子編：看護実践に活かす中範囲理論（第2版）。メヂカルフレンド社，2016。 その他、提示または配布する資料・文献				
メッセージ	看護理論は難解というイメージが強いのではないだろうか。この授業では、理論家その人や理論の背景にある考え方を理解することによって、看護理論の面白みや深みを知ること、そして看護実践への活用について、事例をもとに考える機会にしたい。				
科目の位置づけ	この科目は〈看護の基盤〉科目群に位置付けられており、「看護学概論」で学習した内容をベースに、看護理論家の考え方を学ぶ。看護理論を学ぶのは、看護実践に活用し、よりよい看護を提供するためでもある。そのため本授業では、前期に履修した「看護過程の展開実習」を材料に、理論を活用して各自の実践を分析し、レポートとしてまとめることを目指す。今後の実習や看護師になった後に、看護理論を実践に活用するための基礎的能力を養う上でも基盤となる科目である。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		○			◎
評価方法	ワークシート・提出物（40%）、課題レポート（60%）から総合的に評価する。				